

# より新しく、学ぶよろこび!

かわさき市民アカデミー

和田あき子新学長 抱負を語る

かわさき市民アカデミーは、今後3年間にNPO法人の経営に移行します。昨年度、これまでの財団の設置規則や運営に関する要綱の改正が行われ、いよいよ移行に向けての基盤整備ができました。発足一年を迎えたNPO法人でも着実に経験が重ねられていることを先日理事会に参加させていただいて実感し、心強く思いました。



開講式で挨拶をされる和田新学長

そうした中において私たちの第一の課題は、より充実したカリキュラムの作成にあると認識しています。カリキュラムは、後期分は5月に、前期分は10月にカリキュラム企画・編成委員会でそれぞれの分野の先生方に分担していただいております。委員は12人で、その構成は学識経験者9名、NPO代表2名、財団代表1名となっています。

すでに2008年後期の編成作業に着手していますが、今年度は東昭先生、海老沢敏先生、末永昭和先生、西島建男先生、太田猛彦先生には引き続きお願いし、新しく宮島喬法政大学教授、中村政則一橋大学名誉教授に加わっていただきました。これに学長、副学長が入り、外にも必要な分野の先生にお力添えしていただく体制になっています。NPO委員からは、受講生からの希望など出していただき、それがただちに実現できるとは限りませんが、反映させていくことができると考えています。

人間関係も、知識や理解も<広がり、つながる>楽しさを味わえる学びの場——かわさき市民アカデミーの今後を視野に入れながら、役目を果たしていくつもりです。

## <和田あき子学長プロフィール>

1938年岐阜県生まれ。早大大学院文学研究科博士課程修了。東京外国大学講師などを経て、設立当初からかわさき市民アカデミー運営委員。前副学長。

NPOの通常総会 5月28日開催

特定非営利活動法人(NPO法人)かわさき市民アカデミーは、4月2日発足以来、2年目を迎えました。これも一重に会員の皆様をはじめ関係各位のご支援の賜物と感謝申し上げます。

つきましては以下のとおりに通常総会を開催いたします。会員の皆様は是非ご参加下さい。

1. 日時 20年5月28日(水) 午後4時
2. 議案 (1)定款の改正(案)について  
(2)平成19年度事業報告書について  
(3)平成19年度決算報告(案)について  
(4)監査報告について  
(5)平成20年度事業計画書(案)について  
(6)平成20年度収支予算書(案)及び入会金・会費(案)について  
(7)次期役員を選任(案)について

会員、賛助会員をはじめ受講生の皆様のご支援をお願い申し上げます。

(理事長 東 昭 会員293名・1団体、賛助会員197名/2008年3月31日現在)

東理事長の講演「宇宙開発の蔭で」TV放映



講演する東理事長

4月11日、第17回アカデミー開講式に引き続き、東昭理事長が東京大学名誉教授として「宇宙開発の蔭で」の題目にて記念講演をされました。

約100人の聴衆が熱心に聴き入るなか、第2次世界大戦中のプロペラ戦闘機の特徴から最近のスペース・シャトルの開発までを各国の果たした役割などについてご自身の体験を含めて話をされました。講演はイッツコム他13の神奈川県内のケーブルテレビ局の番組「TVフォーラムかながわ」内で6月9日~15日に放映される予定です。

市内放送区域	チャンネル	曜日
川崎、幸	9	月~金 13時~14時
宮前、高津、中原	9	火・水 11:00~12:00 土 13:00~14:00 日 8:30~9:30
多摩、麻生	11	月・水・金・日 15:00~

08年前期 自主企画、ワークショップ、委託講座 一覧表

NO	曜日	コース	題名	講師	会場	運営	NPO 事務局	担当 理事
	月	美術Ⅰ	日本絵画の流れ—縄文時 ～	永田生 慈	高津	自	清水	山口
	月	人間学Ⅰ	日々の生活を哲学してみ ～う	中村行 秀日	P	自		水流
	月	政治・社会	シテズンシップの比較考 ～	宮島 喬	P	自		乾
	月	国際関係	現代インド政治—デモク ～	中溝和 弥	P	自		折居
	月	音楽Ⅰ	音楽文化史への旅—都市 ～	大塚修 造	高津	自	清水	林
	火	日本史	江戸再発見—新しい江戸 ～	大口勇次 郎	P	自		水流
	火	人間学Ⅱ	道具学への招待—道具か ～	山口昌 伴	P	自		千田
	火	社会福祉	現代の貧困と社会福祉	市川—宏 他	P	委		川口
	火	みどり学Ⅰ	みどり学（入門編）	石井誠治 他	Pほか	委	吉田	川口
1	水	美術Ⅱ	聖書の世界と美術—旧約 ～	秦 剛 平	新百合21	自	清水	園倉
2	水	文学	作家たちの戦中戦後	和田あき 子	P	自		乾
5	木	暮らしの中の科学	身の回りの科学—日本の ～	東 昭 他	Pほか	自	吉田	川口
5	木	環境とみどり	環境とみどり(3)—都市 を～	太田猛彦 他	Pほか	自		鈴木
7	木	音楽Ⅱ	海老澤敏の新モーツアル ～	海老澤 敏	新百合21	自	清水	竹内
3	木	音楽Ⅲ	江戸歌舞伎とその音 楽	竹内道 敬	新百合21	自	清水	折居
9	金	世界史	中世ヨーロッパの歴史～	堀越孝 一	P	自		水流
0	金	みどり学Ⅱ	みどり学（応用編）	石井誠治 他	Pほか	委	吉田	鈴木
1	金	経済	日本近現代史から今を考 ～	中村政 則	P	自	...	竹内
2	金	映像・メディア ア	映像メディア概論	奥村賢ほ か	ミュージ アム	自		入交
、	土	土曜（社会福 祉）	思春期危機を乗り越える ～	村井美紀 他	P	委		土方
3	木	夜間（人文 学）	宗教は私たちの日々生活 ～	亀山純生 他	中原	委	西山	水流
5	水	夜間（古典芸 能）	古典芸能の中の落語～	太田 博	P	委		林
0	火	夜間（社会問 題）	変わる世界の政治指導者 ～	五十嵐武士 他	麻生	委		乾
3	水	夜間（芸術）	油絵を描く—技法から基 ～	佐藤一郎 他	P	委	西山	
S-1	月	人間学Ⅰ	これでいいのか—この暮 ～し	中村行 秀	P	WS		水流
S-2	月	政治・社会	日本から見たヨーロッパ ～	宮島 喬	P	WS		乾
S-3	月	国際関係	変革期のインド—源に遡 ～	中溝和 弥	P	WS		折居
S-4	火	日本史	江戸時代の人と社会	大口勇次 郎	P	WS		水流
S-5	火	人間学Ⅱ	道具を語る—道具が語り ～	山口昌 伴	P	WS		千田
S-6	火	音楽	東京交響楽団～	東京交響 楽	ミューザ	WS		林
S-7	水水 水	美術	日本仏像彫刻史プラス川 ～	齊藤経 生	新百合21	WS		園倉
S-8	水	文学	廃墟にみる夢から豊かさ ～	高橋敏 夫	P	WS		乾
S-9	木	環境とみどり	持続可能な社会をめざし ～	太田猛彦 他	Pほか	WS		鈴木
S-10	木	カウンセリン グ	カウンセリングを学ぶ～	薬品好 恵	麻生	WS		折居
S-11	金	みどり学Ⅱ	みどり社会貢献ウォーミ ～	石井誠治 他	Pほか	WS		鈴木
S-12	金	経済	アメリカから見た戦後そ ～	永江雅 和	P	WS		竹内